

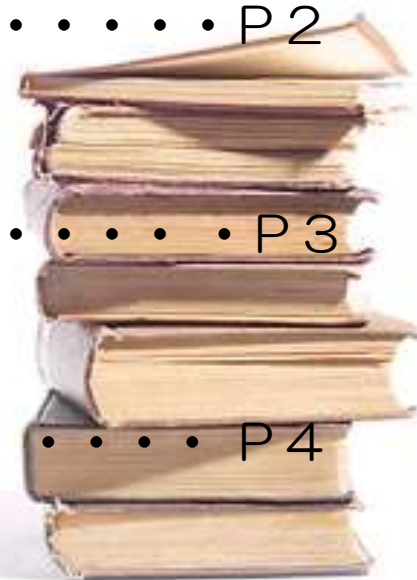
# 「学校のあり方」の概要

いわき市教育委員会



## 目次

- ◇ 「学校のあり方」検討の背景と基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
- ◇ 取り組みの基本的姿勢・・・・・・・・・・・・・・・・P 2
- ◇ 方向性Ⅰ 教育の一貫性の向上と地域社会との連携強化・・・・・・・・P 3
- ◇ 方向性Ⅱ よりよい地域の教育環境づくり・・・・・・・・P 4



# 「学校のあり方」検討の背景と基本理念

## 【背景】

- ・人口減少及び少子高齢化
  - ・学校の小規模化の進行
  - ・地域ごとの多様性
- などから

よりよい教育環境を持続的に提供していくための施策展開が必要

【基本理念】一貫した方針の下、子どもたちの発達段階に応じて適切に対応できる環境の構築



# 取り組みの基本的姿勢

学校のあり方は、次のような基本的姿勢の下で取りまとめていきます。

## ☆ 子どもたちが主役 ☆

「教育の主役は子どもたち」を基本に、より良い教育環境の持続的な提供を図ります。



## ☆ 住民意向の尊重 ☆

地域とのコミュニケーションを重視し、住民の意向を尊重します。



## ☆ 協働・連携の促進 ☆

地域や家庭をはじめ、さまざまな主体との協働・連携を深めます。



# 方向性Ⅰ 教育の一貫性の向上と地域社会との連携強化

就学前から高校までのつながりの強化

学校と地域社会とのつながりの強化

☆ 幼小接続の取り組み強化 ☆



幼児

幼保連携等の就学前教育の充実



小学生

☆ 小中連携教育の拡大 ☆

高校生



☆ 中高連携方策の強化 ☆

中学生



地域

パートナーシップの連携強化

仕事



キャリア教育の充実



食育も含めた家庭での教育機能強化

優れた芸術文化に触れる取り組み



文化・芸術



家庭

## 検討範囲の設定

現在の中学校区を目安として検討  
(地域の実情に応じて弾力的な対応も)



中学校区



公民館所轄

公民館の所轄範囲とほぼ一致するため  
地域としてのまとまりが期待されます

## 考え方

☆ 地域の状況を分析 ☆

- ◎ 地域の歴史、生活圏
- ◎ 今後の児童生徒数
- ◎ 学校の位置や通学距離
- ◎ 幼稚園や保育園との関連
- ◎ 震災による影響
- ◎ 公民館との関連 など

☆ 必要な手法を選択 ☆

- ◎ 小中一貫教育の推進
- ◎ 通学区域の再編
- ◎ 学校の統廃合
- ◎ 地域独自の事業展開 など

## 地域独自の方針の構築

地域ならではの  
学校のあり方

地域との協議によりオーダーメイドで作成

